



わたしに近づくためにいのちをかける者は、いったいだれなのか。——主の御告げ。——

エレミヤ書30章21節

沖縄70リバイバルミッションは、4月1日から6月21日まで、日本の大リバイバルを求めておよそ100回ほどの集まりを持たせていただき無事終了することができました。沖縄の牧師先生、聖徒の皆様のおかげで協力を心から感謝し、全国の沖縄を愛する友から尊いご献金をもってご支援いただきましたことも、厚く厚く御礼申し上げます。

いのちをかけて

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです

エペソ6章12節

このたびの戦いは、日本を支配してきた悪しき霊との戦いでありました。また、日本の興亡をかけた1993年の全日本リバイバル甲子園ミッションと同じ戦いだと思っています。

私は、4月1日～5日、さらに4月23日～27日に沖縄で奉仕し、28日に帰宅、29日は栃木県那須MTC、5月5日は小山市でリバイバル聖会の奉仕をさせていただきました。そして、また5月6日(月)には妻・清子とともに沖縄に向かい、6月22日まで滞在しました。6月17日は結婚65周年を迎えることができ、今までの祝福を感謝しました。

しかし、6月18日から体調を崩し、大会の終盤は腹痛と下痢が続き、腹に水がたまり始めて「末期ガン」かと心の中で思うようになりました。

その後も続いて7月5日まで、沖縄のファイナルから応援に来てくださったロン・ブラウンさん、イヴオンヌ・ウィリアムズさんとともに、九州地方で滝元明ミニストリーの働きをさせていただきました。沖縄から船で沖永良部島—徳之島—奄美大島—鹿児島に渡り、熊本県阿蘇—福岡—大分と巡回しました。その間ほとんど食事もとれず、食べてもすぐ下痢をしてしまい、体力も失われてきたため、福岡の病院で診てもらおうと「肝臓に影がある」と言われて、7月5日福岡聖書キリスト教会の礼拝奉仕の後、新幹線で2か月ぶりに家に戻りました。

翌日、浜松の病院で精密検査を受けると、肝臓に6～7センチのガンがあり、肺にも複数の転移が見つかりました。手術は不可能で、1泊入院で腹水2リットルを抜いてもらいました。医学から見ると、この地上のいのちは半年から1年ほどとのことでした。

ハレルヤ! 主にお会いする日が近くなりました。しかし、いのちを握っておられる方は、天の父、私たち

の主イエス・キリストさまです。7月9日は、私の愛する祈り場「愛知県民の森」に行き祈ってまいりました。私が天に召されてからは、皆様と顔を合わせることもできないと考えて、8月14日に、私のために感謝聖会をしてくれることになりました。

ただ一筋、日本の救い、日本のリバイバルのために働かせてもらったこと、多くの友から愛され、今まで生かしてもらったこと、すべてを感謝しております。

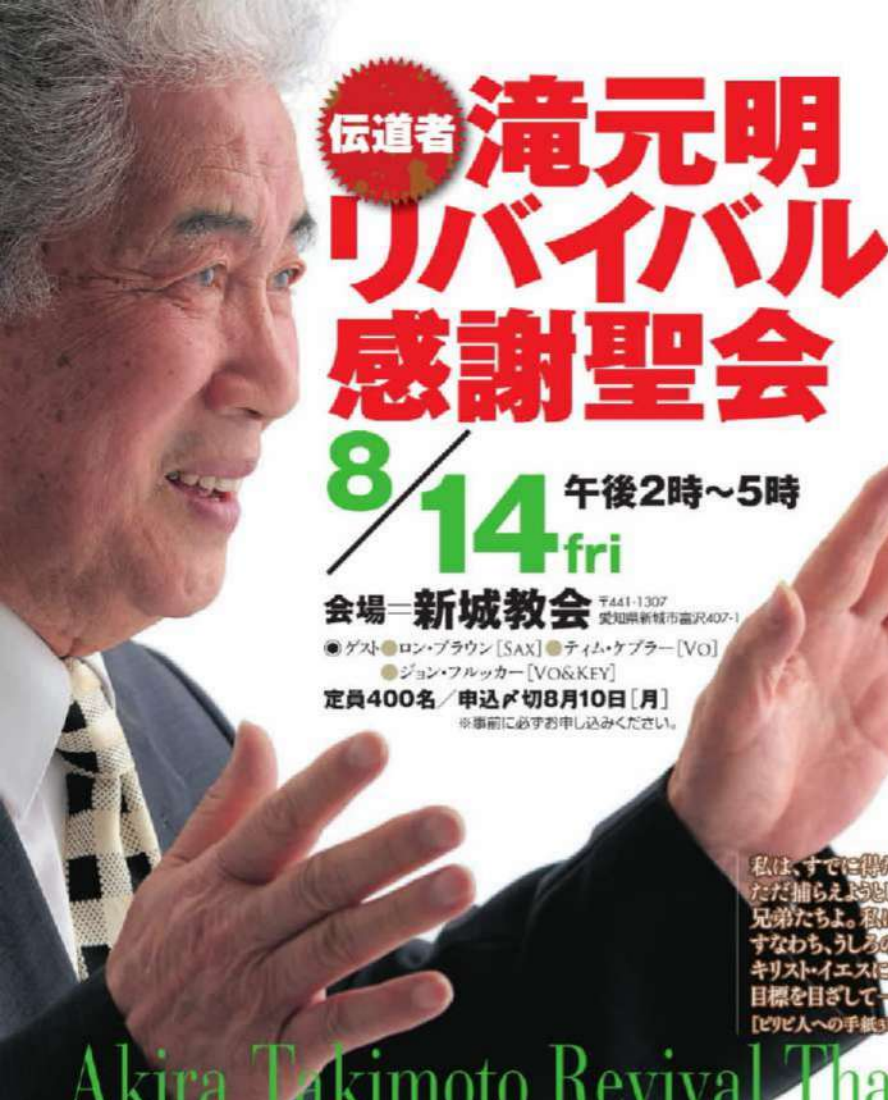
さらに全日本リバイバルミッションのためにお祈りください。日本のリバイバルはさらに前進します。

私ももう一度癒されたら、また、リバイバルのために働かせていただきます。

すべて主の御名があがめられ、日本の地に大リバイバルが到来するようにお祈りしています、8月14日(金)、お時間がありましたらお越しください。お会いできればうれしいです。主イエスさまの祝福がありますように。



●全日本リバイバルミッション主幹
Akira Takimoto
滝元明



伝道者 滝元明 リバイバル 感謝聖会

8/14 fri 午後2時～5時

会場 新城教会 〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1

●ゲスト ●ロン・ブラウン[SAX] ●ティム・ケブラー[VO]
●ジョン・フルッカー[VO&KEY]

定員400名 / 申込〆切8月10日[月]
※事前に必ずお申し込みください。

このたび突然ですが、「伝道者・滝元明リバイバル感謝聖会」を開くことになりました。皆様もご存じのように、滝元明先生は「愛と熱血の伝道者」と呼ばれ、神様に伝道者として召し出されてから現在まで、いのちがけで福音を語り続けてきました。ときには山村や漁村を駆け巡り、日本の至る所で主の愛を語ってきました。甲子園や日本武道館でのメッセージは、皆様の記憶にあざやかなものと思います。罪に対して大胆に、そして鋭く、心に迫る語り口は、生涯一貫して変わることがありませんでした。どの集会でも魂に対する愛と情熱で満ちあふれ、低い姿勢で語ってきました。もうすぐ86才を迎える今も、心に届く神のメッセージは健在です。滝元明先生は語るだけでなく、私生活においてもきよい方です。奥様を愛され、ご家族をとっても大切にされてきました。さらに、この日本と教会をこよなく愛し、リバイバルを誰よりも願ひ祈って来られたことは、皆様もご承知のとおりです。先生は幼子のような心を持つ、まれに見る純粋な伝道者です。先生の今までの働きに感謝して、左記のように特別な聖会を開催することになりました。この時期は何かとお忙しいことは存じますが、是非、ご出席賜りますよう心からご案内申し上げます。

実行委員 平岡修治

私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえられ、追求されているのです。兄弟たちよ。私は、自分勝手に捕らえられたとは思っていません。すなわち、うるもの忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリストイエスにおいて上に召していただく神の栄冠を得るために、目標を目標として一心に走っているのです。
[ビビ人への手紙3年2月14日]



Akira Takimoto Revival Thanks Celebration



沖縄70リバイバルミッション

戦後70年を覚え、沖縄の真の解放と祝福を願って、沖縄70リバイバルミッションが4月1日より、6月21日まで、80日間は各教会で、最後の2日間はファイナルが会場を借りて開催されました。実に集会は100回にのぼり、会衆は7,000人を超えました。すべての必要も満たされつつあります。これは、まさに皆様の主にある祈り、協力、犠牲による勝利と確信しています。沖縄に日本のリバイバルのカギを託されていると実感しました。そして今やそのカギでリバイバルの扉が開かれたと信じます。沖縄全地に、日本に、アジアと世界にリバイバルの炎が拡大されると大いに期待しています。

すでにリバイバルの火は沖縄に点火

戦後70年の節目の年に沖縄を覚えてくださり、4月1日より6月21日まで80日間各教会を回り100回にわたる集会で、命をかけて福音を語っていただきました滝元明先生はじめ、諸先生方、スタッフの皆様にご心から感謝を申し上げます。

滝元先生は20年前の甲子園大会のような戦いを覚悟の上で、沖縄大会に臨む話をしておられました。昨年準備委員会でお会いした時より、顔色が悪いように見えたが、持ち前の明るさで85歳の年齢を感じさせないお元氣な様子で、大胆に熱くメッセージを語られ、100回の集会をごなされた事は驚くばかりです。

沖縄のリバイバルを願ひ全力を尽くして御用に立ってくださった先生に、そして主と共に居られますますの力を注いでくださった恵みを感じ、心からの敬意をもってお礼を申し上げます。これまで何度となく沖縄に来ていただきました。私は今回特に先生の並々ならぬ熱意をはじめから感じておりました。ファイナル集

会での力強いメッセージに圧倒されました。

65年という伝道者生活の集大成のようにも思えました。随所で語られる少年のような純真な心で主への信頼と真剣なお祈りの姿勢、信仰の強さに心打られました。主の愛が注がれているこの島を「福音の島沖縄」にしてください。私たちも立ち上がります。全速力で労して下さった滝元先生とリバイバルミッションの皆さんに主の祝福が豊かにありますようにお祈り致します。

系満シーサイドチャペル牧師 比嘉幹房



比嘉先生御夫妻



2015年

11月25日[水]—26日[木] マニプール州インパール

11月28日[土]—29日[日] ナガランド州コヒマ

●本大会ツアーにご参加ください!

11月23日[月]—12月1日[火](9日間)〈予定〉東京・成田出発

ツアー基本料金:219,800円(税込)〈予定〉

※この他、別途諸費用(燃油サーチャージ等)必要です。

(現在は32,320円ですが、情勢やレート変動により増減する可能性があります)

※インドへの旅行はビザ申請が必要です。(別途料金により申請手配できます)

※ツアー詳細は次号でお知らせいたします。

現地
決起大会

8月19日[水] 出発—26日[水] 帰国 ●講師 / 有賀喜一

ナガランド・インパール
リバイバルミッション
Nagaland Imphal
Revival Mission

ナガランドからの 期待の声!

ナガランド・バプテスト教会協議会から、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの御名によってご挨拶申し上げます。

戦争は決して素敵なものではありませんし、誰も戦争のことをよく言う人はいません。ですから、私たちは戦争の恐ろしさをいつまでも語り継ぎ、過去の歴史の暗い部分を取り除かずに語るという選択肢があります。けれども、私たちには、歴史の暗い部分を取り除く選択肢もあります。それは平和と和解によってのみ可能なのです。

クリスチャンにとって、この平和と和解は、十字架、すなわちキリストにおいて神様が私たちをご自身と和解させてくださったでござることを通して可能になります。このことによって私たちは心の平安を得るというだけでなく、私たちの行動を通して神様の栄光が現わされるような関係を築いていくこともできるのです!

ナガ族は私たちなりの方法で第二次世界大戦の恐

怖を語ってきました。その時には私たちの姉妹や母たちが犯され、自分たちの家を追われ、家財道具や家畜などの財産が力づくで奪われたりしました。私たちの親たちは宿無しになり、ジャングルが私たちの住みかとなりました。怒りと不満を抱いたナガ族は白人と協力して、日本人と戦いました。

私たちはこのような経験は過去のものとし、それを忘れ、前を向いて歩みたいと思います。そのことは、私たちがキリストにあって真に互いをゆるし合い、受け入れ合う時にのみ、可能となるのです。私たちがゆるすことをしなければ、戦争の恐怖も、私の村の人々が通った苦しみも、忘れることは難しいです。私たちは忘れたいのです。ですから私たちは日本人の人々にゆるしを求め、私たちが日本人にしたことについて心から謝罪をしたいのです。あなたがたは私たちの土地によそからやって来ましたが、私たちはあなたがたを軽蔑し、ひどい扱いをしました。あなたがたが私たちに助けを求めてきたとき、私たちは助けることをしませんでした。私たちがあなたがたにとってよそ者となったのです。ナガ族の人々が深く息を吸って、私

ちは申し訳なく思っており、私たちの主であるイエス・キリストの御名によって、私たちをゆるして欲しいと言う時が来ました。

この集会在日本にリバイバルの偉大なうねりを起こし、それがナガランドにも及びますように。神様がご自身の聖霊をあなたがたすべての上に注ぎ、あなたがたが神様の祝福を経験しますように。



ナガランド・バプテスト教会協議会総書記

ゼルフー・ケホ博士

太平洋戦争70年後の今 福音宣教を考える

シリーズ⑦ SIRネットワーク代表 瀧元 望

沖縄戦の組織的な戦いが終焉したとされる6月23日午前4時過ぎ、摩文仁の丘の頂上に建つ「黎明之塔」に70年後数名の方々とその場に立ち、とりなし祈るために向かいました。

まだ夜が明けない暗やみの中、多くの報道陣とそのレポーター達、過激な行動を繰り返すそれぞれ異なった立場を取る政治団体の人々、それを警備する警官達などが狭いスペースを埋めて騒然としていました。

1945年6月23日午前4時30分、陸軍の32軍指揮官である牛島満中將と参謀長の長勇少將が、司令部の置かれていた摩文仁の丘の洞窟で自刃したその時間を目指して集まっていたのです。

午前5時過ぎには沖縄陸上自衛隊第15団の自衛官たちも参拝のためにそこに登って行きました。

沖縄戦ほど悲惨な民間人をも巻き込んだ地上戦はありません。ギルバート諸島のタラワ、マキン、イ

ンドネシア領ニューギニア・ピアク島、サイパン島、グアム島、パラオのペリリュー島、フィリピンのレイテ島なども島全体が戦場になり、日米両軍の多くの兵士が戦死していきましたが、その規模と人数においても沖縄は比べものにならないほどの犠牲者を生み出した。

「日本本土の盾」とされた沖縄。大本営は降参を許さず持久戦を強いて、兵士、民間人を合わせ約24万1千人の人々の血が流されたといえます。

その人々の名前が刻まれた平和の礎(いしじ)は6月23日の日の出の方向に向けられ建てられています。10年前からその時間である5時30分過ぎに沖縄のクリスチャン有志が集まって祈禱会を続けてこれ、70年後の朝も30名ほどの方々と祈りを共にすることが許されました。

イエスキリストにある「真の平和」が沖縄を訪れ、その地をいやし回復させることを祈ることこそ和解の使者とされた者の使命だと感じました。

地上戦を体験することなく終戦を迎えた他府県の私たちは、沖縄戦の傷の深さやその悲惨さを実は何も理解していないのではと思われれます。もちろん空襲などによって町全体を焼かれ、多くの人々の命を奪われたことは、大きな痛みです。しかし、地上戦

によって人と人が相対して血を流し、傷つけあったことは全く異なったものであるように感じます。

70年後の4月1日から約80日間、沖縄で福音宣教での「地上戦」といえる礎を救い、いやし、回復させるイエスキリストの十字架を宣べ伝える「愛をもった戦い」が繰り返されました。

沖縄70リバイバルミッションファイナルの大会で久しぶりに会った、父、滝元明は、私に「今回の戦いほど激しいものはなかった」と呻くように言いました。5月上旬から約40日間沖縄に滞在して福音を語り続けていました。

太平洋戦争の世代である父親に担わされている使命、それは戦争を体験してない私の世代とは違う、重いものだと感じざるを得ませんでした。

バビロン捕囚の70年後、ダニエルの世代が主の前にとりなし祈り、その祈りは大祭司ヨシュア、ゼルバベル、預言者ゼカリヤ、ハガイ、そして、さらに世代が進んだエズラ、ネヘミヤにまで受け継がれていき、エルサレムの町の回復とイスラエルの民のいやしと救いが前進していきました。

太平洋戦争70年後、沖縄で主が点けてくださったリバイバルの火を次の世代が受け継いでいく、それこそが必要であると信じます。

予告

霊的戦い専門課程、第4期目が9月からスタートします!

教職者を中心に、教会伝道の現場で霊的戦いを実践しておられる方々のために、一歩進んだ霊的戦いの学びを提供する、霊的戦い専門課程。開講以来3年、毎月約20名ほどの参加者が与えられ、継続して学び続けておられる方々も多くいらっしゃいます。

2015年9月より、4期目の専門課程がスタートします。
毎月多彩な視点から霊的戦いについて学び、分かち合い、実践するユニークな学びの機会を、ぜひご利用ください!

2015—2016年●年間スケジュール(すべて月曜日～火曜日)
2015年9月28—29日●10月26—27日●12月7—8日
2016年1月25—26日●2月22—23日●3月28—29日●4月25—26日●5月23—24日
6月27—28日●7月25—26日
費用/全参加14,139円 [税込み、食費・宿泊費含む]

●お問い合わせ、参加申込みは、神学校事務局まで。●

※予定は変更になる場合があります。※2015年11月と2016年8月は専門課程はありません。※霊的戦い専門課程は通常のセミナーとはことなり、教職者および教会による推薦を受けた方々を対象として開講しています。信徒として個人的に霊的戦いの学びを希望される方は、神学校の聴講あるいはDVD講座の受講をおすすめします。

無料体験
入学制度を
ご利用
ください!

- ・毎月行われているリバイバル聖書神学校の授業を受講することができます。
- ・登録料・授業料無料!滞在費(食費・宿泊費)のみで参加できます。
- ・年間を通じていつでも、1講義から参加できます。

※無料体験入学をご希望の方は、神学校事務局までお問い合わせください。入学資料と共に無料体験入学券をお送りいたします。
 ※無料体験入学はお一人様1回限りとさせていただきます。通常の聴講は随時受け付けています。
 ※8月はクラスはありません。

9月神学校スケジュール

- 9月8日 [火]**
 1~3限:ヨハネの福音書(平岡修治)
 4限:宣教の聖書神学(有賀喜一)
 5限:特別講座・今日の神学と教会(山崎ランサム和彦)
- 9月9日 [水]**
 1~3限:旧約聖書概論(石黒剛年)
 4限:宣教の聖書神学(有賀喜一)
 5限:1年生・聖書解釈学入門(山崎ランサム和彦)
 2~3年生:キリストの良い証人(有賀喜一)
- 9月10日 [木]**
 1~4限:霊的戦いの諸相(滝元順)
- 9月11日 [金]**
 1~4限:ルカの福音書(山崎ランサム和彦)
 ※講義スケジュールは変更になる場合があります。



DVD講座のご案内 1講義(90分2,000円)からでも受講可能!登録無料、ご注文合計3,000円以上の場合、送料無料でお届けします!便利でお得なDVD講座をぜひご利用ください。

- 7月度の講義.....
- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 新約聖書神学13—16 山崎ランサム和彦(全16講義) | ヨハネの福音書10—12 平岡修治(全21講義予定) |
| 聖書解釈学入門4 山崎ランサム和彦(全11講義予定) | 戦略的霊的戦い4—6(全10講義予定) |
| ヘブル書10—12 有賀喜一(全12講義) | |
- ※講義の時間数は変更になる場合があります。*DVDによっては、神学生のみへの提供となるものもございます。あらかじめご了承ください。

●お問い合わせ資料請求は今すぐ! 神学校事務局まで
リバイバル聖書神学校
 〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1 ●Tel.0536-23-6720 Fax.0536-23-6220
 E-mail seminary@j-revival.com ホームページ <http://www.j-revival.com/rbs/>

Zawameki 2015 Schedule

歌おう! 日本の回復を! 叫ぼう! 主への賛美を!

- 8.9 [日] 10:30~**
 LLM伊那エクレシア
 長野県伊那市吉岡2771
- 8.15 [土] 15:00~16:00**
 Zawameki街角同刻Praise Vol.28
- 8.21 [金] 19:30~**
 LLM結城リバイバルチャペル
 茨城県結城市結城1000-5-3
- 8.22 [土] 13:00~**
 LLM宇都宮キリスト福音教会
 栃木県宇都宮市宇都宮2-2
- 8.22 [土] 19:00~**
 LLM黒磯福音教会
 栃木県黒磯市黒磯町10-12
- 8.23 [日] 10:30~**
 LLM大泉セントラルチャーチ
 東京都練馬区大泉2-20-11
- 8.28 [金] 19:00~**
 LLM飯田リバイバル祈禱会
 会場/飯田入舟教会
 長野県飯田市飯田3丁目2-4
- 8.29 [土] 18:00~**
 Zawameki Worship Show 新城
 長野県新城町1丁目547-34
- 8.30 [日] 10:30~**
 LLMあやめ池キリスト教会
 長野県飯田市あやめ池3-34
- 9.4 [金] 16:00~**
 LLM掛津ベテルキリスト教会
 大府町掛津市正本4丁目330-21
- 9.11 [金] 18:30~**
 Zawameki Worship Show 東京 Vol.128
 会場/お茶の水クリスチャンセンターB1 アイリーンホール
 東京都千代田区山手町4-1-1
- 〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
 Tel.0536-23-0024 Fax.0536-23-6220
 club@zawameki.com
 郵便番号Zawameki 00880-9-56347

Zawameki 街角同刻Praise Vol.28
 8月15日 [土] 午後3時~4時

この夏は、新しい賛美で、Zawameki街角Praise
 そして、賛美は24時間ぐるーっと地球を巡る
 開催場所は、全国、全世界の街角にて!

★東京は石神井公園にて開催!
 東京都練馬区石神井4丁目26-1

毎夏恒例のZawameki街角Praise、今までは毎月、この4月にリリースされたZawameki 12からの新しい賛美も合わせて、主に向かってカーネーションの賛美をおさげします!今回は、各国の午後3時になったら主への賛美を響かせ、24時間ぐるーっと地球を賛美込み込む大プレイスプランです!お祈り、声を揃えて、言葉を揃えて、そして、詩歌を揃えて参加者大募集です!世界におられるあなたにぜひとも紹介ください!

●お申し込みは doukoku@zawameki.com

- Hosanna
- タビデの子にホサナ
- 主をほめよ
- 主が声を出すよ
- 主よ四方から
- 主イエスの愛がここに
- 主の愛がう
- 主をほめたたえよ
- 主の向こうから
- Jesus is coming soon!
- 命られた花嫁
- Maranatha
- 主のみ名に力がある
- Let's dance to the Lord
- Dancing

Zawameki 12
 from its coming soon!

Zawameki シリーズ第12弾。
 世界的ベストアーティスト Alex Allis 氏がプロデューサーに迎え、L.A.録音!サタンの手より賛美を響かせ!今、主に最高の賛美がささげられる。

好評発売中!

お求めは、プレイス出版
 全国キリスト教書店にて取り扱っています
 プレイス出版 Tel.0536-23-6195

会計報告 2015年6月度

収入	支出
前月繰越金	442,313
一般献金	5,943,331
沖縄70集会奉金	2,297,729
収入合計	8,241,060
前月ざわめき録越金	791,221
ざわめき録越金-集会収入一式	666,654
ざわめき録越金-集会収入一式	686,074
次月繰越金	771,801
事務局運営費	1,140,901
一般経費交通費	183,854
通信費	418,969
印刷費	315,576
沖縄70録費	2,257,881
集会録経費	50,000
支出合計	4,867,181
次月ミッション情報金	3,373,879

いつも全日本リバイバルミッションのためにご支援くださり感謝いたします。
 沖縄の大会を終え、経済的にも多くの皆様の助けにより、乗り切ることができそうです。11月にはインド・ナガランド・インパールでの大会も控え、諸準備等にも費用が必要になってきます。またリバイバルの拡大のために全力で戦ってまいりますので、続いてお祈りくださるとともに献金をもってご支援くださいますようお願いいたします。

ALL JAPAN REVIVAL MISSION
 全日本リバイバルミッション ☎0120-291-372

〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
 Tel.0536-23-6712 Fax.0536-23-6220
<http://www.j-revival.com> office@j-revival.com
 ※水曜9月14日18時30分発行予定です。